

# 京ビジネス 手帖

～ともに描く経営の未来～



#販路開拓 #デジタル化

顔の見える関係が

課題解決の一步へ

経営支援員と描く次のビジョン

定期的に開かれる  
“店頭戦略会議”

なく相談できてありがたかった”  
と当時を振り返る。

お店に通う中で見えてくる  
デジタル化への課題

ずっと近くで見ているから  
わかる最適解



友測経営支援員

代表取締役  
岩本 有希さん



## ごとう 笹寿し 伍十

(株式会社キョートフードサービス)

新型コロナウイルスのパンデミックで世界が混乱していた2020年、当時の店主と奥様が揃って病で倒れ、急遽、娘の岩本有希さんがお店の運営を任されることに。薬にもすがらない思いで商工会議所に駆け込んだのが始まりであった。担当経営支援員より、コロナ対策補助金の申請サポートがあり、厳しい状況を切り抜けた後も関係は続く。

友測経営支援員(以下、友測)が同店の担当になったのは2023年。彼は近隣の商店街の担当でもあったため、何かにつけて顔を出して話を聞くことがルーティンになっていた。岩本さんは「わざわざ電話するほどでもないことも、頻りに顔を出してくれるので気兼ね

訪問時のやり取りを通じて、会計業務にかかる負担を課題としていることに気づく友測。POSレジの導入を提案し、使用イメージをつかむため実機に触れて試すことができる「ITツール体験スペース」も併せて案内したという。実際に体験された岩本さんは、「日常的にレジを打つことの多い高齢の母親が扱うことも想定していたため、操作性や画面の見やすさを事前に確認できたので、安心して導入を決定できた」と話す。

同店は、店舗販売のほかに、スーパー等への卸売も行っている。店舗販売は、時期によって売上に波があると岩本さんが話すと、安定した売上が見込める卸売の強化を提案。販路開拓の補助金の活用を勧めるとともに、経営計画の作成を支援した。友測は「笹寿し 伍十」さんは、既にスーパーや京都駅売店等にも販路を拡げているが、まだほかにも開拓できる余地はあるはず」と、岩本さんに寄り添ってさらなる成長に向けた未来図を描いている。

詳細はWebから  
ご確認  
いただけます



## 笹寿し 伍十 (株式会社キョートフードサービス)

京都市下京区西七条北衣田町37  
TEL:075-313-6130

西大路七条の交差点沿いに位置する店舗。主力商品の笹寿しは、定番から季節商品まで豊富に揃っている。▶